

# ロシアによるウクライナ侵略の状況 (2022年3月23日時点)

- 現在、露軍は、「ウ」軍・市民の抵抗により、キエフ、ハルキウといった大都市の占領には成功していないものの、攻勢を継続。市街地・住宅地へのミサイル・多連装ロケットによる攻撃を強化し、「ウ」一般市民の犠牲者が増加
  - ・ 一方でクリミア方面から侵攻した部隊が「ウ」南部一帯において占領地を拡大、マリウポリを包囲
  - ・ これまで比較的攻撃の少なかった「ウ」西部においても、軍事施設に対するミサイル攻撃等が激化
- 「ウ」軍発表の露軍損耗は、人員約1万5300人、戦車509両、装甲戦闘車両1556両、固定翼機99機、ヘリ123機



18日、露国防省は、**キンジャル空中発射型弾道ミサイル (ALBM)**により、「ウ」西部イワノ・フランキウシク州デルヤティンの「ウ」軍弾薬貯蔵施設を攻撃したと発表

20日、露国防省は、**黒海からカリブル巡航ミサイル (SLCM)**により「ウ」北部ニージン (チェルニヒウ州) 装甲車修理工場を、**カスピ海から同SLCM**により、また**クリミア上空からキンジャルALBM**により、「ウ」南部ムィコライウ州コンスタンティニウカの「ウ」軍燃料貯蔵施設を攻撃したと発表

資料源: ウクライナ国営通信、ウクライナ政府機関ウェブサイト、露タス通信、ISW等